

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

- ① 収容定員を変更する組織の概要・・・p. 2
- ② 人材需要の社会的な動向等 ……p. 2
- ③ 学生確保の見通し ……p. 4
- ④ 収容定員を変更する組織の定員設定の理由 ……p. 4

① 収容定員を変更する組織の概要

	入学 定員	収容 定員	所在地
博士前期課程 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻	10	20	京都府京田辺市多々羅都谷1番地3
博士後期課程 スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻	6	18	

スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻博士課程(前期課程)は、健康とスポーツに対する現代的関心と欲求の増大に応じて、「健康」と「スポーツ」が有機的に融合したスポーツ健康科学を体系的に習得し、その成果を大学・研究所、医療・健康関連産業、民間企業や地方自治体等において、的確かつ柔軟に、現実に対応できる能力を有する高度専門職業人、および広範囲な研究能力の涵養と新たな学問領域の開拓が期待できる卓越した研究者を目指す人材を養成する。

また、スポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻博士課程(後期課程)は、隣接諸科学の先端的知見とスポーツ健康科学の専門的知識を修得し、その成果を的確かつ柔軟に応用、運用できる能力を身に付けて、大学・研究所において広範囲な研究能力を発揮して新たな学問領域の開拓をする研究者や、医療・健康関連産業や地方自治体等において、学際的かつ高度な専門性を生かして活躍する超高度専門職業人となる人材を養成する。

② 人材需要の社会的な動向等

第3期スポーツ基本計画 データ集(スポーツ庁)^{※1}によると、スポーツ市場規模は2012年の5.5兆円規模から2018年には9.1兆円規模へと拡大しており、増加傾向となっている。このように、健康志向の高まりやスポーツ産業の発展等に伴い、スポーツ健康科学分野の専門家に対する需要が増えた結果、本研究科においても博士課程への進学希望者が増加している。特に後期課程の2020～2024年度入試においては既に職を有する社会人の合格者が4割以上を占めており、キャリアアップのための専門知識修得、実務経験を経たうえで研究能力の向上を目指す専門的社会人からの需要の高まり、スポーツ関連企業等からの博士課程への進学奨励、さらには生涯学習に対する意欲向上といっ

た社会背景の変化が進んでいることが推測できる。

なお、本研究科における博士学位取得状況も堅調であり、課程修了者についてはその9割以上が教育研究機関に職を得て活躍している。

<表1>同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程

受験者・合格者・入学者推移（2020年度～2025年度）

前期課程 (入学定員 8)	年度	受験者	合格者	入学者	定員超過
	2020	8	5	5	
	2021	9	6	6	
	2022	19	17	16	8
	2023	9	7	7	
	2024	14	13	12	4
	2025	7	7	6	

後期課程 (入学定員 3)	年度	受験者	合格者	入学者	定員超過
	2020	3	3	2	
	2021	4	3	3	
	2022	5	4	4	1
	2023	10	10	9	6
	2024	6	5	5	2
	2025	2	2	2	

③ 学生確保の見通し

全国的なスポーツ系研究科への入学動向については、「令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団）※²において、私立大学研究科前期課程全体の定員充足率が87.88%であるのに対して、スポーツ健康科学研究科の定員充足率は116.03%、同後期課程全体の充足率が53.27%であるのに対して、スポーツ健康科学研究科は116.00%となっており、全体平均を上回っている。

また、②の表1の本学スポーツ健康科学研究科の前期課程・後期課程の過去6年における受験者数、合格者数、入学者数のとおり、前期課程においては、2022年度および2024年度において入学者が定員を超過し、後期課程は2022年度以降、3年間連続で入学者が定員を超過している。2025年度入試においては、入学定員を増員のうえ、定員管理を厳格化しようとする大学の動きを見て「入学定員が増えてから受験する」という受験控えの傾向が社会人志願者の間でみられたが、2026年度入試においてはこれらの学生が受験することとなるため、志願者は増加するものと想定される。

定員数については、これら過去6年間の受験者数・合格者数・入学者数等の実績を踏まえ、増員を行った場合においても定員を満たすことは可能と判断している。

このことから、博士課程への進学需要は高まっており、学生確保は見通しが立っていると言える。

④ 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

②で示した社会需要や、③で示した進学需要、近年の状況等により、博士課程前期課程、後期課程とも収容定員を増員し、より多くの優秀なスポーツ健康科学分野の専門人材を育成したい。

※1：第3期スポーツ基本計画 データ集

(https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_5.pdf)

※2：「令和6（2024）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」

(<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR6.pdf>) の P69~P70